

# 新冠ポロシリ山荘トイレの汲み取りに参加して

山のトイレを考える会 事務局長 仲俣善雄

## 1. はじめに

イドンナップ山荘は国道235号線から約60kmあり、途中からの林道は曲がりくねったダートを運転しなくてはならない。新冠ポロシリ山荘はさらにその19km先にある。この道は北海道電力の管理道路となっており、登山者は19kmを歩いて新冠ポロシリ山荘にやっと到着する。殆どの登山者はこの山荘に泊まり、次の日の早朝に出発して日本百名山の幌尻岳（2052m）に登頂する。登頂後はそのままイドンナップ山荘まで長距離を歩く一泊二日の登山者が多い。



新冠ポロシリ山岳会（以下 新冠山岳会）は、イドンナップ山荘と新冠ポロシリ山荘の維持管理、幌尻岳の登山道整備を担っている。山のトイレを考える会代表の小枝正人と私の二人は2023年7月28日にイドンナップ山荘に泊まり、29日に新冠ポロシリ山荘トイレの汲み取り作業に参加してきた。

## 2. イドンナップ山荘とトイレ

山荘の周辺は原っぱのような感じで広い駐車場となっている。山荘は2階建て。水は無い。1階に大広間1室、小部屋1室。2階は小部屋が5室ある。トイレは男子小便器2

個、洋式トイレが2室ある。トイレットペーパーも備えてある。トイレは清掃用具も備え付けてあり、便器も綺麗で臭いも無かった。

29日の朝5時起床。朝食後にトイレ、1階の部屋、台所、2階の畳敷き小部屋を窓の棧も含め徹底的に掃除をした。



イドンナップ山荘



広い駐車場



男子小便器2個と右は洋式トイレ2室



洋式トイレも綺麗だった

### 3. イドンナップ山荘から新冠ポロシリ山荘へ

イドンナップ山荘までは町のバキュームカーが来てくれるが、新冠ポロシリ山荘までは来てくれない。そのため新冠山岳会が購入したトラックに積める可搬型のバキュームにより、年3回ほど汲み取りを実施している。

29日の朝7時過ぎに新冠山岳会の松本健会長、堤秀文事務局長ら4名が可搬型バキュームを積んだ2トントラックとワゴン車で集合場所のイドンナップ山荘に到着した。その後、いろいろと準備をして、我々は車に乗せてもらいゲートを開けて7時50分出発。

北電の管理道路は狭く、片側が切れ落ちている箇所も多い。特に1箇所山側に大岩があつて道が狭く2トントラックがギリギリ通過、冷や汗を掻く危険な箇所がある。登山者がたくさん歩いているのに出会う。山荘には8時50分着。

### 4. 新冠ポロシリ山荘トイレの汲み取り

山荘は2階建て。流し台もあり、沢から水を引いていて常に蛇口から水が出ている。



新冠ポロシリ山荘・トイレ・汚物集積箱



小屋の1階。綺麗に清掃されていた



プレハブトイレ（右）と仮設トイレ



プレハブトイレ（前室がある）

トイレはプレハブトイレ（小便器1個、和式1室）と仮設トイレ（和式）が1基ある。快適なトイレの条件は何か？便器がきれい。臭いがない。明るい。トイレットペーパーがある。この4条件だろうか。

- (1) 便器が汚れないように簡易水洗方式。清掃用具も配備されていた
- (2) 消臭・し尿の減量化のため、微生物製品「※イグアスEX」を便槽に投入
- (3) 小型ソーラー発電の人感センサー付きライトがトイレ内外で点灯する
- (4) トイレットペーパーを配備

※ (株) CITIC (静内衛生社) が北海道大学と共同開発した製品

登山者にいかに快適にトイレを利用してもらうか、新冠山岳会は常に工夫し努力している姿が見てとれ、驚くことがいっぱいあった。

特に貯留式便槽は簡易水洗のために便槽が洗浄水で満杯になりがちである。そのための工夫に驚いた。外からトイレを見ると、便槽の上部にホースを繋いであり、そのホースが外に設置した1100リットルの貯留タンクに接続されていた。便槽内では固形物は下に汚水は上に分離されるので、汚水をホースで外のタンクに貯留する方式である。

それでも現地に行った時は3つの便槽はし尿で満杯。まずバキュームで貯留タンクの汚



水を汲み取り、その後、便槽のし尿を汲み取った。新冠山岳会の皆さんは手慣れたもので1時間もかからず可搬型バキュームでし尿を汲み取った。

簡易水洗の水は近くの沢から汲んで人力で洗浄水タンクに注入する。登山者はトイレ後に目の前のペダル踏むと洗浄水が出る。



前室。簡易水洗用ポリタンクと清掃用具  
右は生理用品等の汚物回収箱



プレハブトイレの男子小便器



プレハブトイレの和式便器  
右前の黒いペダルを踏むと洗浄水が出る



仮設トイレの和式便器  
右前に黒いペダルがある



便槽の汚水を黒いタンクに貯留する



便槽はし尿でほぼ満杯だった



可搬型バキュームでの汲み取り作業



アブ対策も万全な松本会長



生理用品等の汚物集積箱



新冠山岳会の皆さま・お世話になりました

困るのは生理用品があると汲み取り時に詰まる原因になると言っていた。トイレットペーパー以外の生理用品等はトイレ前室の汚物回収箱に捨てること。満杯になったら外の汚物集積箱に入れるよう掲示してあった。

## 5. おわりに

新冠山岳会の皆さんは、この大変な維持管理作業を楽しそうにやっていたのが印象に残った。大変な労力であるのに頭が下がる。

新冠町役場と新冠山岳会の“登山者に少しでも快適で安全な幌尻岳登山を！”との熱意が伝わってくる汲み取り作業への参加であった。

幌尻岳には3つの登山コースがある。私たちは日高山脈襟裳国定公園が国立公園化されるにあたり、幌尻岳全域で携帯トイレの使用を推進できればと考えている。新冠コースの場合、携帯トイレを使用すると思われる所は新冠ポロシリ山荘と幌尻岳間の往復だけで、使用量は少ないと推察される。

携帯トイレの使用量は少ないと思うが、し尿汚染から日高山脈の環境を守りたいと考えている登山者もいるし、レンタカーや公共交通機関で来る本州の人も多い。その人のためにもどこかに使用済携帯トイレを回収できる環境整備が必要と考えている。

(以 上)